



なかよしうさぎの夏まつり開催！

ありがとうございました!(^^)!

～大仏様と子ども達～

R5, 7月 NO.3 認定こども園若草幼稚園・若草ベビールーム

7月1日(土)になかよしうさぎの夏まつりを開催しました。お越しいただきました皆様ありがとうございました。ぴよんぴよん広場などでお顔なじみのお友達、はじめましてのお友達、そして卒園生がママになってお子さんを連れてきてくれ嬉しい再会があったりと、たくさんの方にお会いでき賑やかな会になりました。お気に入りの遊びは見つかりましたか？すくすく畑の野菜のお味の感想もぜひお聞かせくださいね(^^)/

若草幼稚園といえば「大仏様」。日本全国を見ても大仏様を見上げて過ごす園庭があるのはここだけ？と思います。(密かに「珍百景登録なるんじゃないか・・・」と思っている担当Dです)この大仏様は青銅立像の大仏様としては日本一の高さで、台座も含め17メートルあります。園長先生の曾祖父にあたる龍州宗淵大和尚が天災や戦争で亡くなった人の供養のため20年をかけて大正3年に大仏を完成させました。しかし、太平洋戦争の国策(武器や戦車の材料にする)のために供出させられ無残なコンクリートの柱だけになっていました。平成3年に先々代住職、先代住職、檀信徒の皆さんの悲願が実り50年ぶりに建立されたのが現在の大仏様です。

先日幼稚園で「大仏建立の日」のお参りをしました。若草っ子にとって毎日目にする大仏様。大仏様がどうやってグラウンドに運ばれてきたか(頭、胴体、手などバラバラでトラックで運ばれグラウンドで組み立てていったんです!)の写真を見たり、大仏様の高さってどのくらい?(約160センチの先生11人分、キリンだと4頭分の高さです!!)の写真を見てびっくりしたり。そのあと、大仏様の戦争にまつわる苦難の歴史の話や、大仏様建立に込められた人々の平和への願いについても住職の宗徳先生からお話しいただきました。

世界ではSDGsが叫ばれ「平和と公平をすべての人に」と唱っているが、世界の裏側では戦争が起こっているのが現実です。子ども達と考える「平和」。大仏様が戦争のために壊された歴史や、平和を願うたくさんの方の思いが集まって大仏様が再建されたことも「平和」について感じる大切な場面になっていると思います。グラウンドで遊ぶ子ども達の中には、自分よりはるかに大きい大仏様をジーと見上げる子や、自然と手を合わせる姿もあるのですよ。子どもたちなりに感じるものがあるのでしょうか。



人は無意識のうちに自分と異なる人に偏見を持ち、それが差別につながり、戦争や紛争では「敵」になります。家庭を離れて、自分とは違ういろいろな人と出会う第一歩が幼稚園かもしれませんね。私たち大人ができること。いろいろな人がいて、いろいろな考え方があって、いろいろな文化があって・・・それはそのままみんないい!それを生活の中で当たり前と感じていけるような関わりを大切にしたいと思っています。

また、自然豊かな本園ではたくさんの生き物に触れることができます。もちろん「死」の場面にも出会います。そんな時、子ども達と土に埋め手を合わせて供養します。「命」について最後まで責任を持つことも大事にしています。身近なものの「死」に触れることで、子ども達は「命」の尊さに気づき、自分の命も他者の命も大切にするようになっていきます。若草の園庭で経験する生き物との出会いの中でも、「平和」の芽が育まれていると感じています。

子ども達と考える「平和」。私たち大人が身近な粒粒を大切に、丁寧に子ども達と共有していくことが大切なのかもしれませんね。

ぐんぐん担当 土門 千都子